

第12回 あ・い・ち・ふ・く・し シンポジウム 開催要綱

新たなテクノロジーと福祉の融合

～産官学と福祉との連携の重要性～

1 趣 旨

昨今「超少子高齢・人口減少社会」「人生百年時代」といわれ、また新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により社会的価値観は大きく変容しています。

こうした中、福祉分野において大きな課題であるのが、人材の確保です。人材の確保において、担い手である働き手と福祉支援を必要とする利用者との需要と供給のバランスが合わず慢性的な人材不足が続いております。

そこで、新たな視点で技術的な躍進をする「テクノロジー」と「福祉」を掛け合わせることで、地域でのフレイル予防、引きこもり支援、福祉関係者の業務効率化、質の高い福祉サービスの提供を可能とする、新たな福祉社会をデザインすることができます。「新たなテクノロジー」と「福祉」の双方向的な発展と「産官学」との連携の重要性を考証し、施設、地域でも心豊かに暮らせる社会（うらおいのあるまちづくり）を実感できるような福祉社会をどのように形成していくのか、愛知県社会福祉協議会の基本理念である「あ・い・ち・ふ・く・し」（あんしんして・いきいきと・ちいきで・ふつうに・くらせる・しゃかい）を実現するため、本シンポジウムを開催します。

2 主 催（共 催）

愛知県社会福祉協議会

中日新聞社・中日新聞社会事業団

3 後 援（予定）

愛知県

4 日 程

令和6年3月1日（金）

午後1時30分開会 ※受付開始 午後1時10分

5 会 場

名古屋東急ホテル（名古屋市中区栄4-6-8）

6 参加定員

180人 ※福祉関係者、福祉と産業技術の連携に関心のある方

7 参加費

無 料

8 プログラム

13:10	受 付
13:30	開会挨拶 愛知県社会福祉協議会 会長 鈴木 雅雄
13:35	事例報告 「テクノロジーを活用した福祉最前線」(仮称) 太田 和敬 氏 (社会福祉法人 和敬会 なごみの郷 施設長)
14:20	休 憩
14:30	シンポジウム 「うるおいのあるまちづくりの実現、これからの福祉社会への展望」 ～産官学と福祉との連携の重要性～ <シンポジスト> 大島 伸一 氏 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長) 松尾 清一 氏 (国立大学法人 東海国立大学機構 機構長) 郡 健二郎 氏 (公立大学法人 名古屋市立大学 理事長) <コーディネーター> 飯尾 歩 氏 (中日新聞社論説委員)
16:00	閉 会

9 個人情報の取扱い

本シンポジウムの参加申込者に関する個人情報は、本会の個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱い、他の目的で使用することはありません。